

「銀行再生」への提言

＝ 6 ＝

シブサワ・アンド・カンパニー
代表取締役

洪澤 健氏



◇しぶさわ・けん
東京都出身、42歳。69年渡米、83年テキサス大卒、87年UCLAでMBA取得。ファースト・ボストン、J.P.モルガン・ゴールドマン・サックスなどを経て、96年ヘッジファンド大手のムーア・キャピタル、97年同社の

日本型資本主義の生みの親とも言われる実業家、洪澤栄一氏（1840-1931）。「いま生きていたなら」、今日の状況をどう見るだろうか。日本で初の銀行（第一国立銀行）をつくった栄一氏。不良債権との格闘を10年余りにわたって繰り返して、それでも問題を克服できない。「いまの銀行界に何を思うのか」。栄一氏から数えて5代目に当たるファンドコンサルタント、洪澤健氏に「渋沢資本主義」の本質を聞いた。

銀行の現状をどう見ているか。洪澤 第一国立銀行の株主募集布告で「銀行は大きな川のようなもの。銀行に集まってこない金

ポイント

- ①危険と思われるぐらゐの大胆さも必要
- ②『智』・『情』・『意』のバランス取れた常識を持つ
- ③「前例がない」「組織に通らない」「サラリーマンだから」の言葉は行内から排除せよ

銀行が産業活性の原動力

「よどんだお金」を開放せよ

「よどんだお金」を開放せよ。お金の量ではなく、しっかりとリスクコントロールされた質の高いお金だ。リスクテイク

リスクテイクを積極的に

しても「組織に通らない」「サラリーマンだから」の言葉を行内で排除してはどうか。行員が新しいことに取り組むことの動機を

「よどんだお金」を開放せよ。お金の量ではなく、しっかりとリスクコントロールされた質の高いお金だ。リスクテイク

「よどんだお金」を開放せよ。お金の量ではなく、しっかりとリスクコントロールされた質の高いお金だ。リスクテイク

「よどんだお金」を開放せよ。お金の量ではなく、しっかりとリスクコントロールされた質の高いお金だ。リスクテイク

「よどんだお金」を開放せよ。お金の量ではなく、しっかりとリスクコントロールされた質の高いお金だ。リスクテイク

「よどんだお金」を開放せよ。お金の量ではなく、しっかりとリスクコントロールされた質の高いお金だ。リスクテイク

「よどんだお金」を開放せよ。お金の量ではなく、しっかりとリスクコントロールされた質の高いお金だ。リスクテイク

7月1日「銀行の日」

「銀行条例」が施行された日

「銀行条例」が施行された日